

各委員会の所属議員が決まりました

※敬称略 ◎…委員長 ○…副委員長

総務委員会

高本 一臣 ◎
西岡 誠也 ○
上田 芳裕
日隈 忍
三森 至加
原 亨
満永 寿博
田中 誠一

教育市民委員会

大石 浩文◎
田中 敦朗○
山本 浩之
荒川 慎太郎
田上 辰也
浜田 大介
紫垣 正仁
上野 美恵子

厚生委員会

井本 正広 ◎
村上 博 ○
齊藤 博
平江 透
高瀬 千鶴子
那須 円
澤田 昌作
藤山 英美

環境水道委員会

福永 洋一 ◎
小佐井 賀瑞宜 ○
古川 智子
島津 哲也
北川 哉
吉田 健一
三島 良之
田尻 善裕

経済委員会

大寫 澄雄 ◎
園川 良二 ○
倉重 徹
吉村 健治
緒方 夕佳
寺本 義勝
津田 征士郎
白河部 貞志

都市整備委員会

光永 邦保 ◎
藤永 弘 ○
伊藤 和仁
田島 幸治
山内 勝志
原口 亮志
坂田 誠二
落水 清弘

議会運営委員会

紫垣 正仁◎ 西岡 誠也○ 光永 邦保
福永 洋一 井本 正広 藤永 弘 小佐井 賀瑞宜
原 亨 田中 敦朗 澤田 昌作 三島 良之
津田 征士郎 藤山 英美

予算決算委員会

全ての議員が所属します

庁舎整備に関する特別委員会

澤田 昌作 ◎
浜田 大介 ○
日隈 忍
高本 一臣
西岡 誠也
藤永 弘
寺本 義勝
原口 亮志
村上 博
坂田 誠二
落水 清弘
上野 美恵子

大都市税財政制度・都市問題等特別委員会

満永 寿博 ◎
田上 辰也 ○
伊藤 和仁
田島 幸治
大寫 澄雄
福永 洋一
井本 正広
原 亨
大石 浩文
三島 良之
白河部 貞志
田中 誠一

議会に提案された予算案や条例案は、各委員会に付託され審議されます。また、市民の方々からの請願や陳情もそれぞれの委員会に付託されます。

委員会は、市役所および議会棟に設置されているモニターで傍聴できます。



【控室から】

子どもの成長を守り支える社会へ

上野みえこ



スクールバスを待つ子どもたちが犠牲となる痛ましい事件が発生しました。犠牲となられた方、被害に会われた方々に、心からの「冥福」をお見舞いを申し上げます。

これまでも、子どもたちが巻き込まれるさまざまな事件が発生し、そのたびにさまざまな議論が行われ、対応・対策が充実されてきましたが、今回の事件はまた新たな問題を提起していると思います。子どもたちが日常過ごしていくあらゆる場面で、さらなる安全の確保に努めていかなければならないと同時に、被害にあった子どもにも留まらず、広く子どもたちの心のケアが十分になされていかなければならないと思います。

そして、子どもたちが犠牲となるこのような痛ましい事件が繰り返されないためにも、さまざまな事件の根底にある社会の抱える矛盾についても掘り下げて検証し、正しいかなければならないと感じています。

健やかな子どもの成長を守り支えていく、安心して暮らせる地域社会をつかっていく、大人の責任を重く受け止めました。

日本共産党 市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 3階
発行：日本共産党熊本市議団
上野みえこ なすまどか

NO. 1142
2019年6月2日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団

検索

障がい者が安心して暮らせる熊本市へ

5月26日、熊本市障がい者福祉センター希望荘で、「障がい者・児の生活を豊かにする会」総会が開かれ、上野みえこ議員が参加しました。当事者の切実な声が出されるとともに、記念講演では、「障がい者の生活と権利を守る全国連絡協議会」事務局長の白沢仁さんが、国の社会保障制度の動向と、障がい者が直面する65歳の介護保険優先原則の問題、障がい者雇用偽装問題、旧優生保護法による強制不妊手術の問題、障害年金認定等についてお話されました。

障がい者の願いを受けとめ、施策の拡充を！

【熊本市への要望】

- 1、 重度心身障害者医療費助成の対象枠拡大、21,000円を超える場合の現物給付実施
- 2、 障がい者の入院給食費・差額ベッド料への助成など
- 3、 重度訪問介護・家事援助・移動支援等の時間確保
- 4、 介護従事者の確保
- 5、 入所施設の拡充
- 6、 障がい者向け市営住宅を増やす
- 7、 さくらカードのICカードはやめて、利用料を無料に
- 8、 タクシー券の拡充を
- 9、 ガソリン券の対象・金額の拡充
- 10、 低床バス・低床電車を増やし、運行の拡充を
- 11、 日常生活用具の拡充を（音声体重計など）
- 12、 市役所・区役所の設備改善（多目的トイレの改善等）
- 13、 障がい者福祉センター希望荘の設備改善（トイレ等）

「豊かにする会」からは、熊本市に対し、切実な要望が出されています。障がい者の声に応え、安心して暮らせるよう、障がい者サービスの充実に努めることが必要です。



侵略戦争美化の教科書を採択させない 国民・市民に開かれた教科書制度・採択を！

5月26日、「教科書ネットくまもと」の総会が開かれ、「子どもと教科書ネット21」常任運営委員の吉田典裕さんが新学習指導要領と小学校教科書検定について講演されました。

「開かれた採択」に逆行している実態

文部科学省の2018年度教科書採択関係状況調査では、前回（2015年度）と比べ、教科書採択に係る結果や理由・議事録の市町村別公表率は下がっており、「開かれた採択」に逆行する状況となっています。

市町村教育委員会における公表状況

（％）	2018年		2015年	
	公表	非公表	公表	非公表
採択結果	59.3	40.7	63.8	36.2
採択理由	43.6	56.4	44.9	55.1
採択地区協議会の議事録	27.6	72.4	28.9	71.1
調査研究資料	31.6	68.4	30	70

* 文部科学省「2018年度教科書採択関係状況調査」より

教育委員に教科書見本が提供されていない実態も

同じく文科省「教科書採択関係状況調査」では、圧倒的多数の市町村がすべての教科書見本全種類を教育委員に提供していないばかりか、全く提供していない自治体が1割近くもあります。採択にかかわる教育委員に教科書見本がきちんと提供しないで適正な採択ができるでしょうか。

教育委員への教科書見本の提供状況

自宅・職場に送付するなど、教育委員全員に全種類を提供	22.30%
専用の部屋等に、教育委員等全員が閲覧するために据え置いている	37.20%
採択に関連する会議で配布資料としてのみ活用している	27.80%
特に提供していない	9.20%
その他	3.40%

* 文部科学省「2018年度教科書採択関係状況調査」

開かれた、適正な採択のためには、検定制そのものを改善していくこと、国際的には常識となっている学校ごとの採択実現などをすすめる必要があります。